

カトリック河原町教会だより

2026年1・2月

2026年「第34回世界病者の日」教皇メッセージ サマリア人のあわれみ-他者の苦しみを担うことで愛する(抜粋)

第34回「世界病者の日」は2026年2月11日にペルーのチクラヨで荘厳に祝われます。

1. 出会いのたまもの——近しさと寄り添いを与える喜び

出会いのたまものはイエス・キリストとのきずなから生まれます。わたしたちはこのかたを、わたしたちに永遠の救いをもたらし、わたしたちが傷ついた兄弟に身をかがめるときに仰ぎ見る、よいサマリア人と考えます。聖アンブロジオは次のように述べます。「それゆえ、わたしたちの傷をいやしてくださったかた以上にわたしたちの隣人であるかたはいないのだから、このかたを主、また隣人として愛そうではないか。実際、頭よりもからだの部分に近いものはない。キリストに倣う者をも愛そうではないか。からだの一致のゆえに、他者の苦しみのために苦しむ者をも愛そうではないか」

2. 病人をケアする共通の使命

サマリア人は近寄り、傷を治療し、傷ついた人を引き受け、ケアします。しかし注意しなければならないのは、サマリア人がこれを一人で個人的にしたのではないということです。「サマリア人は、あの男の人の面倒を見てくれる宿屋の主人を求めました。わたしたちも広く呼びかけて、小さな個の集合よりも強力な『わたしたち』に巡り合うよう招かれています」

3. 自分と兄弟とに出会うために、神への愛につねに突き動かされる

たとえこの愛の対象が異なり——神、隣人、自分自身——、その意味でそれぞれ別の愛と理解することができるとしても、それらはつねに切り離すことができないものです。

病者の救いである聖なるおとめマリアにわたしたちの祈りをささげたいと思います。すべての苦しむ人、あわれみと傾聴と慰めを必要とする人のためにマリアの助けを求めます。そして、病気や苦しみのうちにある人々のために家庭の中で唱えられてきた次の古くからの祈りをもって、マリアの執り成しを願います。

甘美なるみ母よ、わたしから離れず、
御目をわたしからそらさないでください。
どんなときにもわたしとともにいて、
わたしを一人にしないでください。
あなたはつねにわたしの守り
わたしのまことの母。
父と子と聖霊がわたしを祝福してくださるようにお祈りください。



すべての病者とそのご家族、介助者、医療従事者、医療司牧に携わる人々、とくにこの「世界病者の日」に参加する人々に、心からわたしの使徒的祝福を送ります。

『真のいやしとは』

洛東ブロック担当司祭 一場 修

2月11日は「世界病者の日」であり、3月6日は「性虐待被害者のための祈りと償いの日」です。そして、2月18日から四旬節が始まります。この時期に黙想したいと思っている、みことばについて分かち合いたいと思います。

ルカによる福音書8章40節～56説に、「ヤイロの娘とイエスの服に触れる女」という、いやしの物語があります。この物語の中で、イエスは、自分の服に触れる女性のいやしに時間をかけます。娘の病気のいやしを必死に願うヤイロを待たせて、手遅れだと思わせるまでして、時間をかけます。

この女性は、12年間も出血が止まらず、苦しんでいました。当時、こうした異常出血は、不浄に見なされ、この女性は、社会的な差別にも苦しめられていました。さらに、治療のために全財産を使い果たすことになり、経済的にも苦しめられていました。まさに、「人生被害」を強いられていました。

この女性の出血は、イエスの服に触れることで、すぐに止まりました。病気が治ったのですから、イエスは、すぐにヤイロの娘のところに行けば良いはずですが、しかし、イエスは、自分の服に触れた女性を探し、女性自身に、自分に起こったことを語らせました。福音書は、女性が、「触れた理由とたちまちいやされた次第とを皆の前で話した」（47節）と伝えています。

女性が触れた理由を語ったということは、女性が自分の人生と人生被害を語ったということです。話し終わるまで、時間がかかったはずですが、イエスは、女性の話を丁寧に聴いたと思います。ヤイロの家に行くのが遅くなったのは、女性の話を最後まで聴いていたからだと思います。そして、女性が語り終えた後で、イエスは、「あなたの信仰があなたを救った。安心していきなさい」（48節）と言っていますから、女性が語るとは、女性の被害からの回復のために必要なことだったと言えます。

女性の話を聴いたのは、イエスだけではありません。そこにいる皆が聴いたのです。ヤイロの娘のいやしの時は、イエスとイエスの3人の弟子と娘の両親しか、いやしの場にいることが許されていませんでしたから、「皆の前で」語ったことには、とても大きな意味があると思います。

皆の前で語るとは、大きなリスクがともないます。この女性を、差別や偏見の目で見ると、人が増えるかもしれません。女性の出血の噂が広がり、女性がさらに傷つくかもしれません。だから、何も語らない方が安全かもしれません。しかし、それで良いのでしょうか。本来なら語っても良いはずですが、語ってもらうことで、私たち皆が、多くのことを学ぶことができ、私たち一人一人の人権意識が高まっていくはずですが、しかし、現実には、さらなる加害を恐れなければならない、多くの人が、沈黙を強いられています。その結果、人生被害をもたらすような人権侵害が、本当に理解されず、繰り返されているのです。そんなことは、絶対にあってはならないのです。

この女性のように、自分の人生被害の体験を語ってくれる人は、今もいます。そして、沈黙を強いられている人もいます。誰かが勇気をもって語ったことは、必ず、皆が、最大の敬意と感謝の念をもって、謙虚に受け止める。謙虚に受け止め、人権侵害による人生被害が起こらないように、皆が、自分のこととして、真剣に取り組む。そんな教会、そんな社会が、遠い未来ではなく、今すぐ実現してほしいと願っています。

この物語は、マルコ福音書（5章21節～43節）とマタイ福音書（9章18節～26節）でも伝えられていますが、伝え方に違いがあります。特に、女性が語ったところについては、マルコでは、「すべてをありのまま話した」（33節）と伝えられていますが、マタイでは、女性が語ったという記述がありません。なぜマタイは、この記述をしなかったのでしょうか。あるいは、なぜ、マルコとルカは、この記述をしたのでしょうか。人権、人生被害と被害からの回復という視点から見る時、よく考えてみなければならないことだと思います。

（大阪高松教会管区部落差別人権センターだより・春号25年5月 No.71に掲載された原稿を、一部変更及び加筆しました。）

主の降誕ミサと聖年閉幕ミサと神の母聖マリア(元日)ミサ

昨年 12 月 24 日 18:30・12 月 25 日 10:30 から主の降誕ミサ、12 月 28 日 10:30 から聖年閉幕ミサ、1 月 1 日 10:30 から神の母聖マリア(元日)のミサが大塚司教様の司式により執り行われ、多数の参加がありました。



元旦の前庭



待降節 控室で笑顔の一コマ

河原町教会あれこれ



国際クリスマス
パーティー



12/3 司教座聖堂献堂記念ミサ



ある日の葬儀ミサ

2026 年度教会 役員紹介

北村 進	留任
谷 祐子	留任
伊藤 元昭	新任
駒井 茂一	新任
神之田 篤子	新任



土曜学校クリスマス会



ナン神父様霊名のお祝い



ソ神父様 洗礼の様子



一場神父様 洗礼の様子

1 月 25 日に河原町教会総会が地下ヴィリオンホールにて行われました。



2026 年 2 月～4 月までの主な予定(予定は変更になる場合があります)

月	日	曜日	行 事 予 定
2	8	日	[年間 5 主日] 病者の日ミサ 10:30
	11	水	世界病者の日
	15	日	[年間 6 主日]
	18	水	灰の水曜日(四旬節)(大斎・小斎) ミサ 7:00・18:30 四旬節愛の献金(四旬節中)
	21	土	四旬節黙想会一場神父 10:00 より第1講話 18:30 ミサ 洗礼志願式
	22	日	[四旬節第 1 主日] 12:30 英語ミサ 洗礼志願式
3	1	日	[四旬節第 2 主日]
	6	金	性虐待被害者のための祈りと償いの日ミサ 10:30
	8	日	[四旬節第 3 主日]
	15	日	[四旬節第 4 主日]
	19	木	聖ヨセフ
	22	日	[四旬節第 5 主日] 一場神父霊名のお祝い
4	25	水	神のお告げ
	29	日	受難の主日(枝の主日)(聖週間)
	1	水	聖香油ミサ 11:00
	2	木	聖木曜日(主の晩餐) 19:00
	3	金	聖金曜日(主の受難)(大斎・小斎) 19:00 聖地の献金
	4	土	聖土曜日/復活徹夜祭ミサ 19:00
	5	日	復活の主日ミサ 7:00・10:30・14:00(英語)
	12	日	[復活節第 2 主日](神のいつくしみの主日) 子ども初聖体 10:30 ミサ ミサ後お祝い会
	19	日	[復活節第 3 主日]
	26	日	[復活節第 4 主日] 世界召命祈願の日



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第 2 週)
12:30(英語・第 4 週)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

木曜日 10:00

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日も有り)

キリスト教入門講座(キリスト教に関心がある人、洗礼を考えている人向け)

キリスト教入門講座
金曜日 19:00(一場神父)
「聖書」キリスト教入門講座
第 2・4 土曜日 11:00(一場神父)
「聖書」キリスト教入門講座
土曜日 16:00(Sr.テッシーのチーム)「こころにひかりを」養成講座(信徒・一般向け)
※原則として毎週養成講座(隔週)
水曜日 10:10(ソ神父)聖書通読会
木曜日 11:00(一場神父)
聖書を順番に輪読する集い聖書の集い
金曜日 11:00(Sr.テッシー)

祈りの集い

聖体顕示式
第 3 土曜日 15:15(ソ神父)祈りの分かち合い
第 2・4 日曜日 9:45(Sr.小川)

初めて参加ご希望の方は事務局へお問い合わせください

カトリック河原町教会だより 2026.1・2 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>